

# チャレンジプロジェクトの取組状況

しあわせ信州創造プラン2.0において、2030年の長野県のあるべき姿や将来像を想定し、そこから振り返って、今何をすべきかを考え、敢えて難しい課題に取り組む「未来志向の成長型プロジェクト」を、以下のとおり推進

## 1 人生を豊かにする創造的な「学び」の基盤づくり

### 【これまでの取組】

- 県民の、主体的で、より深い「学び」を促進し、産業や社会にイノベーションを起こすために必要なものは何かについて議論
- 地域おこし協力隊など実践者へのインタビューや、県内の「学び」の提供者である高等教育機関等と意見交換を実施するとともに、社会人の学び直しの機会拡大について協働

### 【2020の取組（関連事業）】

- 信州に関する様々な情報を一元化した情報検索ツールの構築  
インターネット上の検索ツール「信州・知の入口」ポータルの充実  
2518万3千円(2365万9千円) ⇒教育委員会
- 創造性や多様な他者との共感力を育む学びの推進  
「演劇による学び」の推進 178万8千円(165万7千円) ⇒県民文化部6
- 産業界に必要な人材育成、ライフステージに応じたキャリア教育の推進  
人材育成講座等の情報提供、人材育成コーディネーターによる相談  
対応等 252万7千円(217万1千円) ⇒産業労働部16

## 2 共創を促進するイノベーティブな産業圏づくり

### 【これまでの取組】

- 新たな産業・価値を生むエコシステム創出に向けて2エリアで活動
- ①新たなまちづくり・IT企業進出が進む“善光寺エリア”
  - ・(一社)NICOLLAPのIT活用イノベーション創出活動へ参加・支援  
(地域共創ラボ、善光寺門前イノベーションタウンプロジェクト他)
  - ・産学官連携・IT人材のクリエイティブイベント情報の収集
- ②産業支援機関が高密度に集積する“若里エリア”
  - ・他府県の支援機関連携を調査、産業労働部へ他府県事例を提供

### 【2020の取組（関連事業）】

- ①②のエリアを中心に民間や支援機関連携の仕組みづくりを支援  
ITバレー構想実現に向け、産学官のIT人材育成・ビジネス創出関連  
プロジェクト支援等 3208万8千円(1674万9千円) ⇒産業労働部3

## 3 未来に続く魅力あるまちづくり

### 【これまでの取組】

- 地域が目指すまちづくりを公・民・学が連携して推進する組織「信州地域デザインセンター」(UDC信州)を開設(2019.8.7)
- 地域交通や環境など各分野における知見や施策を活用し、市町村から相談のあった事項について支援を開始

### 【2020の取組（関連事業）】

- まちづくりに関する様々な取組を実施  
「信州地域デザインセンター」(UDC信州)による魅力あるまちづくりの推進 2161万9千円(1275万4千円) ⇒建設部16



# チャレンジプロジェクトの取組状況

## 4 美しく豊かな木と森の文化の再生・創造

### 【これまでの取組】

○外部有識者との意見交換、国内外の先進地視察等を踏まえ、課題や対策等について整理した上で、次の取組を実施

①木や森を活かす人づくり

(フォレストバレーの関係機関の役割整理、フィンランドの教育システムの調査等)

②木や森と人とのつながりの再生・創造

(サントリー大町工場との連携による水・木・食のビジネスモデルづくり等)

③森林などの地域資源で自立した社会の構築

(森林税を活用した里山整備利用地域認定と地域の活動への支援等)

### 【2020の取組（関連事業）】

○多くの県民に木と触れあう機会を提供する取組、自然教育の実践や活動フィールドの整備等を実施

(新)木づかい空間の整備(オフィスや店舗等施設の木質化) 4080万円  
⇒林務部11

「信州やまほいく」の活動フィールド等の整備  
532万5千円(532万5千円) ⇒県民文化部15

## 5 安心できる持続可能な医療・介護の構築

### 【これまでの取組】

○医療・介護・健診のデータ(県民ニーズ)を一元的に集約し、各施策を連動させる基礎となるビッグデータ分析基盤を構築

○県民が、どこに住んでいても適切な医療が受けられるよう、先端技術を活用した医療体制について重点的に検討

### 【2020の取組（関連事業）】

○ビッグデータを活用した医師派遣の検討

(新)ビッグデータ分析基盤を活用したデータ分析を信州大学医学部附属病院と連携して行い、医療機関の役割分担を踏まえた医師派遣を検討 500万円 ⇒健康福祉部5

○中山間地における遠隔診療の体制整備

(新)中山間地の医療確保のパイロット事業として、木曽病院と阿南病院に、医師、コメディカル、患者が遠隔地においてオンラインで診療等を行う機器を整備 333万円 ⇒健康福祉部5

## 6 人生のマルチステージ時代における多様な生き方の支援

### 【これまでの取組】

○人生100年時代に向けた新たなライフスタイルの実現に向け、アンケート調査を実施し、個人や社会が「いま」何をなすべきかを検討

○マルチステージ・シナリオを支える働き方について、意欲的な取組を実践している県内企業を訪問し、連携して推進する施策を検討

○クリエイティブ・フロンティアの実現に向け、中山間地域に息づく資源を有効活用するための先端技術を活用したシステムを検討

### 【2020の取組（関連事業）】

○人生100年時代の新しいライフスタイルの提案

(新)「SDGs全国フォーラム2020 in 長野」の開催 1559万7千円 ⇒企画振興部2

○中山間地域の暮らしを持続可能とするための、地域の移動確保に関する実証実験

(新)住民相互の助け合いによる輸送サービス構築に向けた調査・研究 31万2千円 ⇒県民文化部9

中山間地域における持続可能な地域交通・物流の汎用的な運用モデル構築に向けた実証実験 413万1千円(1264万円) ⇒企画振興部

(新)「定額タクシー」のモデル構築に向けた実証実験 910万円 ⇒企画振興部4

○「県内企業の取組を支援する施策」や「地域資源を活用したリカレント教育システム」、「サステイナブルなライフスタイルや社会経済」などの検討

## 「学ぶ県組織」への転換

### 【これまでの取組】

- 機能的組織構造の実現、組織運営システムの構築、組織力の強化
  - ・多様な採用方法の導入、職員の早期登用の実施
  - ・公文書管理の見直し
  - ・RPA適用業務の拡大
  - ・「スマート自治体」推進 等
- 自律的に行動できる人づくり、組織風土の形成
  - ・政策力・マネジメント力向上のための研修、海外研修の充実、自己啓発支援制度の創設
  - ・キャリアデザインの導入検討
  - ・風通しがよくチームとして支え合う組織風土づくり 等

### 【2020の取組（関連事業）】

- 新たな文書管理システムの構築  
(新)「長野県公文書等の管理に関する条例(案)」に沿った文書管理を行うための新たな文書管理システムの構築  
債務負担行為設定額 1億2370万5千円 ⇒総務部2
- スマート自治体の推進  
ICTの活用や県と市町村によるシステム等の共同利用に向けた取組の推進 1億4511万8千円(3700万4千円) ⇒企画振興部11
- 自律的に行動できる職員の育成  
職員のキャリアステージに応じた体系的な研修の実施とともに、資格取得などの自己啓発を支援 2450万2千円(2616万9千円) ⇒総務部3